

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【公開番号】特開2007-30647(P2007-30647A)

【公開日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-005

【出願番号】特願2005-215268(P2005-215268)

【国際特許分類】

B 6 2 D 21/15 (2006.01)

F 1 6 F 7/00 (2006.01)

C 2 2 F 1/05 (2006.01)

C 2 2 F 1/00 (2006.01)

C 2 2 C 21/02 (2006.01)

C 2 2 C 21/06 (2006.01)

【F I】

B 6 2 D 21/15 B

F 1 6 F 7/00 J

C 2 2 F 1/05

C 2 2 F 1/00 6 1 2

C 2 2 F 1/00 6 0 2

C 2 2 F 1/00 6 3 0 A

C 2 2 F 1/00 6 3 0 B

C 2 2 F 1/00 6 3 1 Z

C 2 2 C 21/02

C 2 2 C 21/06

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月27日(2010.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

調質された熱処理型アルミニウム合金中空形材からなり、該中空形材の外殻部の形状は断面正方形または長方形で、中空部を含む全断面積は $3000 \sim 8000 \text{ mm}^2$ のものであり、中空形材の断面には、それぞれ $1000 \sim 4000 \text{ mm}^2$ の断面積を有しリブで区画された中空部が2つ設けられており、中空形材における各辺の平均肉厚を $t (\text{mm})$ 、中空形材の外郭部とリブとの結合部のコーナー部の半径を $R (\text{mm})$ としたとき、 $3.2m \leq t \leq 1.5 \text{ mm}$ 、 $3.5 \geq R/t \geq 1.5$ の関係を満足することを特徴とするアルミニウム合金製自動車フレーム用軸圧縮エネルギー吸収部材。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記の目的を達成するための本発明の請求項1によるアルミニウム合金製自動車フレーム用軸圧縮エネルギー吸収部材は、調質された熱処理型アルミニウム合金中空形材からな

り、該中空形材の外殻部の形状は断面正方形または長方形で、中空部を含む全断面積は $3000 \sim 8000 \text{ mm}^2$ のものであり、中空形材の断面には、それぞれ $1000 \sim 4000 \text{ mm}^2$ の断面積を有しリブで区画された中空部が2つ設けられており、中空形材における各辺の平均肉厚を $t (\text{mm})$ 、中空形材の外郭部とリブとの結合部のコーナー部の半径を $R (\text{mm})$ としたとき、 $3.2 \text{ mm} \leq t \leq 1.5 \text{ mm}$ 、 $3.5 \leq R/t \leq 1.5$ の関係を満足することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

図11に示すように、中空形材1は、リブ2で区画された2つの中空部3、3を有する外殻の断面形状が正方形または長方形のもので、中空形材1の中空部を含む全断面積は $3000 \sim 8000 \text{ mm}^2$ 、中空部3、3の断面積はそれぞれ $1000 \sim 4000 \text{ mm}^2$ であり、中空形材1の各辺の平均肉厚を $t (\text{mm})$ 、外殻部4とリブ2との結合部5のコーナー部の半径を $R (\text{mm})$ としたとき、 $3.2 \text{ mm} \leq t \leq 1.5 \text{ mm}$ 、 $3.5 \leq R/t \leq 1.5$ の関係を満足するよう設計される。